浜松市立光明小学校　学校だより　　令和7年１月16日

試すっ子

学校教育目標「試す人になろう」　No.２５

「命の大切さ」を子供たちへ伝えたい

校長　中野　主税

３学期始業式の中で、私から子供たちへ「命の大切さ」についてお話ししました。子供たち全員が、「自分の命も人の命も大切にする」意識が高まれば、友達と共に学校生活の中で輝くことができます。そのために子供たちが日々の生活の中で意識することとして、５つの合言葉を伝えました。

【5つの合言葉】

「口」は、人を励ます言葉や「ありがとう」を言うためにつかおう
「耳」は、人の言葉を最後まで聴くためにつかおう
「目」は、人のよいところを見るためにつかおう
「手・足」は、人を助けるためにつかおう
「心」は、人の悲しみや苦しみがわかるためにつかおう

何億分の１という確率で生まれてきた子供たちは、「奇跡の命」をもっています。子供たちが輝く学校・地域であり続けるよう、これからも粘り強く子供たちを育てていきたいと思います。これからも学校の教育活動を応援してください。

自分と仲間の命を守る避難訓練

先日、防災訓練を行いました。今回は、近いうちに訓練があるけれど、いつ行うかは伝えない方法で行いました。昼休みで子供たちは、校内各所にいて、突然避難発生の校内放送を聞いて避難を開始することになりました。より現実に近い形での訓練です。

「訓練、訓練、大きな地震発生。直ちに安全な場所で身を守る行動をしなさい。」という放送をスタートに訓練を開始しました。

私は、子供たちの様子を運動場で見ていました。全校児童が、真剣な表情で、集合場所に無事避難できました。避難後、「避難訓練は、真剣に取り組むことで、もしこれから地震や火事が発生した時に、自分の命だけでなく、仲間の命を守ることにつながります。今日の避難訓練は、１００点です。」という話をしました。

教員も子供も真剣に取り組めた避難訓練でした。これから１年間、子供たちの命を守るために、これからも危機管理への意識を高めていきたいと思います。

19日（日）資源回収に御協力お願いします